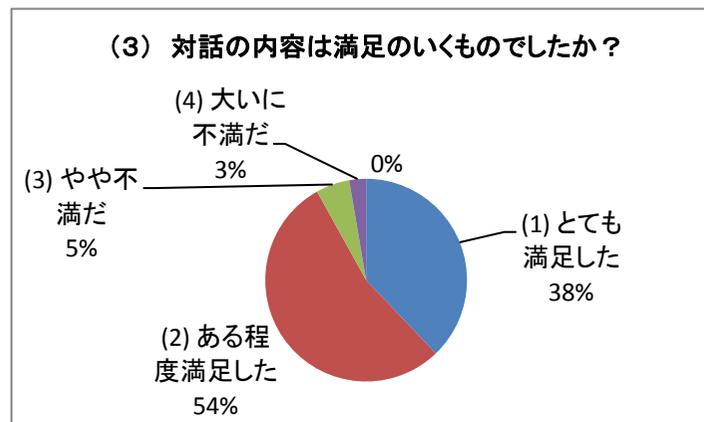
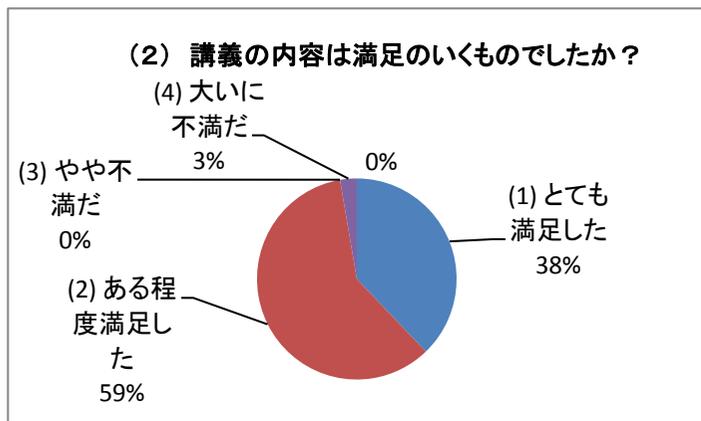


「SNW対話イン広島2011」 事後アンケート結果

2011年12月17日 於 広島商船高等専門学校

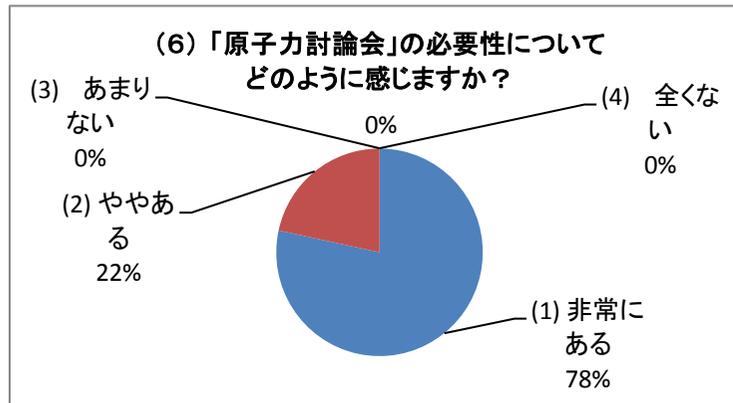
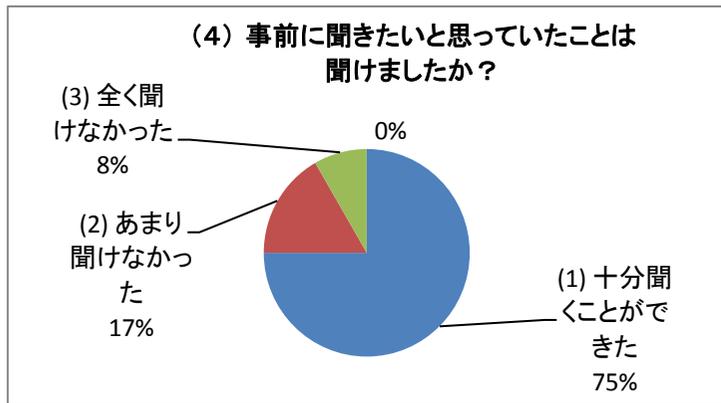
(2) 講義の内容は満足のものでしたか？					(人)		理由
	(1) とても満足した	(2) ある程度満足した	(3) やや不満だ	(4) 大いに不満だ	未 回答	合計	
(学生 4年	2	3	0	0)	0	5	(1)(2)専門家の話を聞け、知りたいことが分かった (2)講演途中に休みを入れて欲しかった
(学生 3年	2	1	0	0)	0	3	(1)質問に対して深く分かり易く説明してくれた (1)(2)原発、放射線について学べた
(学生 2年	4	3	0	0)	0	7	(1)メディアと違った視点が見えた (1)(2)原発の仕組み、事故原因、放射線のことが分かり易かった
(学生 1年	1	5	0	1)	0	7	(2)新しい知識を得た (4)次世代エネルギーの議論が不十分
学生 小計	9	12	0	1	0	22	
一般	5	10	0	0	0	15	(1)(2)講師、専門家からの分かり易い説明 (1)(2)原子力の正しい知識が得られた
合計	14	22	0	1	0	37	



(3) 対話の内容は満足のものでしたか？					(人)		理由
	(1) とても満足した	(2) ある程度満足した	(3) やや不満だ	(4) 大いに不満だ	未 回答	合計	
(学生 4年	3	1	1	0)	0	5	(1)(2)知りたいことが聞けた (2)(3)時間が足りなかった
(学生 3年	2	1	0	0)	0	3	(1)(2)分かり易く答えてくれたから
(学生 2年	3	3	1	0)	0	7	(1)メディアで取り上げてない知識を得た (2)分かり易く答えてくれたから (3)原発についてもっと話したかった
(学生 1年	1	5	0	1)	0	7	(2)直接貴重な体験を聞けた (4) 原発を無くせないことしか分からない
学生 小計	9	10	2	1	0	22	
一般	5	10	0	0	0	15	(1)(2)疑問点に応じてもらった (1)(2)皆の意見が聞けた (1)(2)問題点が分かった (2)学生が良く勉強していたこと

合計	14	20	2	1	0	37
----	----	----	---	---	---	----

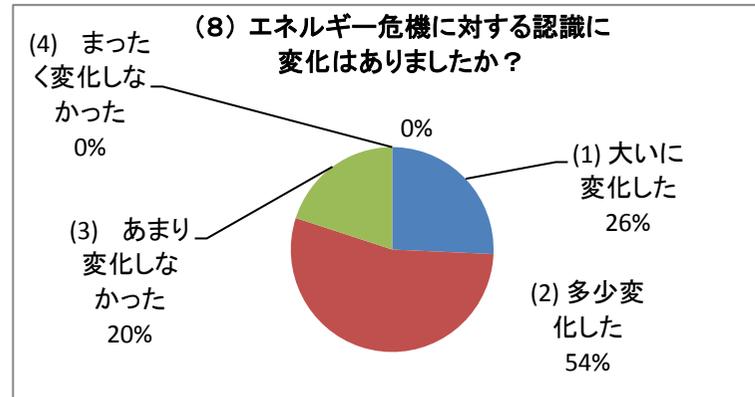
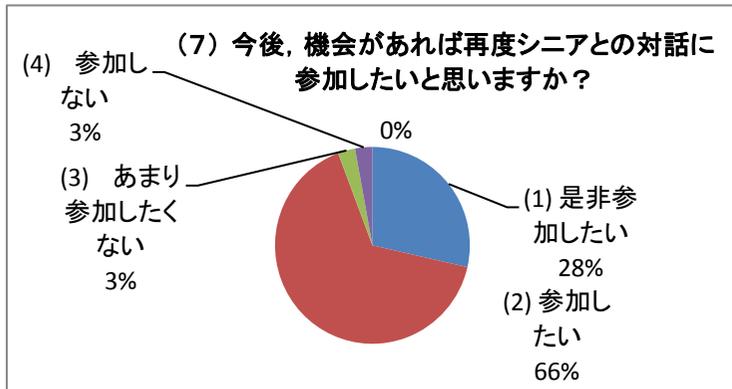
(4) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？ (人)					理由
	(1)	(2)	(3)	未 回 答	合 計
	十分聞くことができた	あまり聞けなかった	全く聞けなかった		
(学生 4年)	2	2	1	0	5 (1)自分の疑問点が取り上げら、聞くことができた (2)(3)質問時期を失った
(学生 3年)	2	1	0	0	3 (1)十分対話ができ (2)時間不足
(学生 2年)	5	1	0	1	6 (1)質問に分かり易く答えてくれたから (2)放射線の知識が少なくて聞けなかった
(学生 1年)	6	0	1	0	7 (1)太陽光の話の聞いた (3)人数に対して時間が短すぎる
学生 小計	15	4	2	1	21
一般	12	2	1	0	15 (1)(2)不安点の解消 (1)(2)疑問点、知らない点が分かったこと (3)時間不足で聞けなかった
合計	27	6	3	1	36



(6) 「原子力討論会」の必要性についてどのように感じますか？ (人)					理由
	(1)	(2)	(3)	未 回 答	合 計
	非常にある	ややある	あまりない		
(学生 4年)	4	1	0	0	5 (1)シニアとの対話の機会を取れる (1)今の時期だからこそ正しい知識を知るために
(学生 3年)	3	0	0	0	3 (1)知識が得られる (1)原子力について良く知るべき
(学生 2年)	5	2	0	0	7 (1)(2)メディアより得られない知識を得ることができる (1)原子力の正しい知識を得る必要があるから
(学生 1年)	5	2	0	0	7 (1)知らないことが多い (1)身近に聞ける (2)原発を考える機会ができる

学生 小計	17	5	0	0	0	22	
一般	12	3	0	0	0	15	(1)(2)国民として皆が知るべき (1)(2)賛否の判断力が深められる (1)(2)メディア以外から情報提供できる
合計	29	8	0	0	0	37	

(7) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？ (人)						
	(1)	(2)	(3)	(4)	未回答	合計
	是非参加したい	参加したい	あまり参加したくない	参加しない		
(学生 4年)	1	4	0	0	0	5
(学生 3年)	1	2	0	0	0	3
(学生 2年)	2	5	0	0	0	7
(学生 1年)	1	4	1	1	0	7
学生 小計	5	15	1	1	0	22
一般	5	8	0	0	2	13
合計	10	23	1	1	2	35

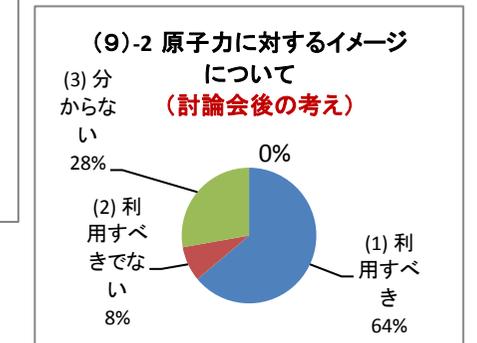
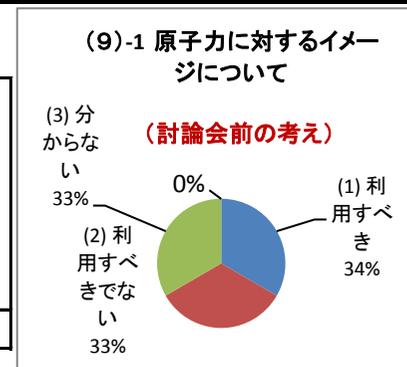


(8) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？ (人)						理由	
	(1)	(2)	(3)	(4)	未回答		合計
	大いに变化した	多少变化した	あまり变化しなかった	まったく变化しなかった			
(学生 4年)	1	1	3	0	0	5	(1)(2)エネルギーなどについて新しい知識が得られた (3)ももとの認識に内容が濃くなっただけ
(学生 3年)	1	2	0	0	0	3	(1)(2)化石燃料は有限な上にCO2を排出する。原発が必要であること

(学生 2年)	1	4	1	0	1	6	(1)代替はなく原発の安全性を高めるしかないこと (2)原子力の認識が変わった (3)リスクの小さいものが良い
(学生 1年)	2	3	2	0	0	7	(2)新しい知識を得た (3)原子力を利用するしかないから
学生 小計	5	10	6	0	1	21	
一般	4	9	1	0	1	14	(1)太陽光のリスク (1)(2)原子力の継続も可能 (1)(2)電気の大切さ (1)(2)危機感の再認識
合計	9	19	7	0	2	35	

(9)-1 原子力に対するイメージについて (討論会前の考え) (人)					理由	
	(1) 利用すべき	(2) 利用すべきでない	(3) 分からない	未 回 答	合 計	
(学生 4年)	3	1	1	0	5	
(学生 3年)	2	0	1	0	3	
(学生 2年)	2	3	2	0	7	
(学生 1年)	0	2	5	0	7	(3)事故で分からなくなった
学生 小計	7	6	9	0	22	
一般	5	6	3	1	14	(2)新エネルギーを利用すべき⇒原子力を中止できないことが分かる
合計(討論会前の考え)	12	12	12	1	36	

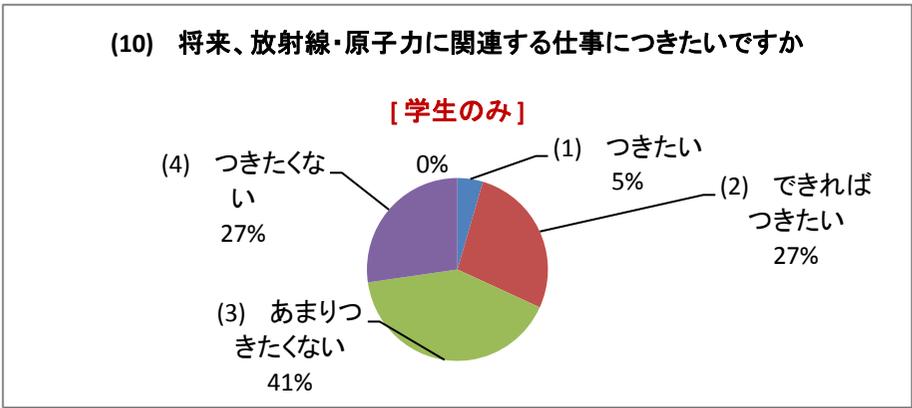
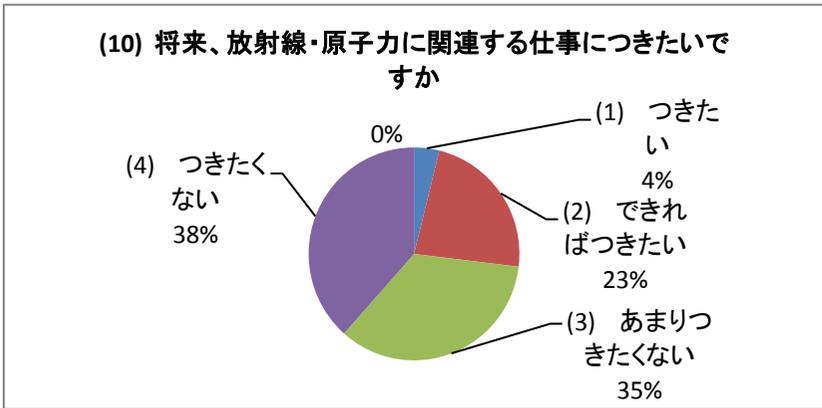
		事後の原子力へのイメージ			未回答
		利用すべき	利用すべきでない	分からない	
事前の 原子力への イメージ	利用すべき	12	0	0	12
	利用すべきでない	7	3	2	12
	分からない	4	0	8	12
		23	3	10	36
未回答					1



(9)-2 原子力に対するイメージについて (討論会後の考え) (人)					理由	
	(1) 利用すべき	(2) 利用すべきでない	(3) 分からない	未 回 答	合 計	

(学生 4年)	3	0	2	0	5	(1)代替エネルギーが見つかるまで、原発に頼らずを得ない (3)どちらでもよい
(学生 3年)	3	0	0	0	3	(1)電気は必須、原発の安全性を高めて国民の理解を得る
(学生 2年)	6	1	0	0	7	(1)原子力に代わるエネルギーが見つかるまで、原発の安全性を高めて利用する (2)地震国の日本では危険と思う
(学生 1年)	2	0	5	0	7	(1)原子力はなくてはならないと (3)長所と短所が分かったが判断が困難
学生 小計	14	1	7	0	22	
一般	9	2	3	1	14	(1)代替エネルギーの困難さ (1)世界より遅れる (1)エネルギー安定確保 (2)事故周辺地の実情との乖離 (2)安全確保に疑問 (3)原発造りすぎ (3)脱原発の困難さ
合計 (討論会後の考え)	23	3	10	1	36	

(10) 将来、放射線・原子力に関連する仕事につきたいですか (人)					理由		
	(1)	(2)	(3)	(4)	未回答	合計	
	つきたい	できればつきたい	あまりつきたくない	つきたくない			
(学生 4年)	1	2	1	1	0	5	(2)自分の力で安全な原発を与えたい (3)両親が心配する
(学生 3年)	0	0	1	2	0	3	(1) 危ない (2) 異分野を志望
(学生 2年)	0	4	2	1	0	7	(2)電力志望 (3)原爆のイメージが拭えない (4)異分野の仕事を志望
(学生 1年)	0	0	5	2	0	7	(3)安全にまだ不安がある (4)異分野の仕事を志望
学生 小計	1	6	9	6	0	22	
一般	0	0	0	4	11	4	(未)すでに勤めている (未)勤める必要がない
合計	1	6	9	10	11	26	



(5) 今回の対話で得られたことは何ですか？

学生 4年(5)	○確かな準備・計画、努力と正しい判断で広い視野を ○太陽光などまだまだ発展段階なので原子力が必要 ○知ることが安心に ○原子力への価値観
学生 3年(3)	○原子力の安全性や発電の仕組み ○省エネを实践しようと ○原発は自然災害に対して、もっと厳しい条件で造るべき ○土壌汚染は、原爆の方が福島原発事故よりかはるかに低いこと???
学生 2年(7)	○原子力やエネルギーの正しい知識 ○放射線の人体への影響や除染方法 ○メディアを信じるのではなく専門家の意見を ○原発への向き合い方
学生 1年(7)	○原発やエネルギーの正しい知識 ○安全に対する過信 ○各人の意見や気持ちはバラバラ
一般(15)	○原子力の必要性 ○現場を大切にすること 原子力の知識・実情 ○数値による安心感 ○放射線の人体への影響と安堵

(11) 原子力に対する関心の低い10代、20代の若年層に対する原子力広報活動はどんな方法が良いと思いますか？

学生 4年(5)	○今回のような対話会・講演の開催を ○セミナーや授業を ○ネットの活用
学生 3年(3)	○TVやネットの活用
学生 2年(7)	○討論の場を設けて意見交換を ○事故の内容を隠さず正々堂々と公開する ○漫画・TVアニメでの広報 ○ネット、雑誌の活用
学生 1年(7)	○学校での講義 ○電気などの身近な話をする ○漫画での広報 ○授業に盛り込む
一般(15)	○今回のような対話会・講演会 ○地域にあったスタイルの広報 ○ネットの活用と討論会や対話会 ○事実の伝承

(12) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

学生 4年(5)	○直接シニアと話ができる対話会をもっと開いて欲しい ○自分が知る原子力に新しいページを刻めた ○原発事故のリアルな部分を知れて良かった
学生 3年(3)	○原子力について良く学べた
学生 2年(7)	○討論の時間を長くして欲しい
学生 1年(7)	○最初からグループディスカッションを ○改めて原子力の必要性を認識
一般(15)	○グローバルな問題との再認識 ○異分野の先生の参加も必要 ○多くの町民が参加できる講演を ○地元のエネルギーについても議論を ○シニアには、3時間以下を

ま と め

データの整理	学生、地域参加者からの要望
○アンケート記入者(37名)は、広島商船高等専門学校の学生22名(4年5人、3年3人、2年7人、1年7人)と当学校所在(上島)の地域住民15名である。	○次世代エネルギーの議論が不十分であった。(もっとして欲しかった)
○講義の内容は97%の方が満足 of いくものと答えた。1人不満の方がいた。	○原発を無くせないことしか分からなかった。(他のアイデアがないか)
○対話の内容は82%の方が満足 of いくものと答えた。3人不満の方がいた。	○人数に対して時間が短すぎる。
○75%の方が聞きたいことが聞けた。9人が聞けなかった。	○長所と短所が分かったが賛否の判断が困難である。(判断材料が不足)
○「原子力討論会」の必要性については、必要ない人はゼロであった。	○安全にまだ不安がある。(不安をなくせるようにしたい)
○また対話に参加したい方は94%で、参加したくない人は2人いた。	○今回のような対話会・講演の開催をもっとして欲しい。
○エネルギー危機に対する認識に80%の方が変化した。7人があまり変化しなかった。	○学校での講義や授業の中にエネルギー・原子力の講義を盛り込んでほしい。
○原子力に対するイメージは、「利用すべきでない方」は12人から3人になった。	○漫画・TVアニメでの広報やネットの利用をして欲しい。
○原子力関連の仕事には、学生では32%(7人)の方が就きたいと答えた。	○異分野(新エネなど)の先生の参加も必要である。
学生、地域参加者にとって良かったこと	○討論の時間を長くして欲しい。聞きたいことが聞けなかった。
○専門家の話を聞くことができ、知りたいことが分かった。	○(改めて)原子力の必要性を認識できた。
○メディアと違った視点が見え、メディアより得られない知識を得ることができた。	○グローバルな問題であることを再認識できた。
○原子力の長所と短所が分かった。	○原子力に対する正しい知識を習得できた。
	○原発事故のリアルな部分を知ることができた。